

# 根来山げんきの森倶楽部

令和3年10月作業日誌



随分と涼しくなり、日差しの下では森のお散歩や作業なども心地よい季節になり、お弁当を手に来園される方も増えてきました。今回は巣箱の回収や枯れ木の整備、炭の袋詰めとそれぞれに楽しく体を動かしました。

活動日：令和3年10月17日 9:30～15:30 天気：雨のち曇 倶楽部員：43名



## 気持ちよく散歩してもらえる森に

枯れ木の処理・・・本日は遊歩道近くの安全確保・森の活性化・カシノナガキクイムシ被害の進行防止・景観の改善を目的として、枯れ木の倒木と再利用の為の処理を行いました。午前中は6名で手づくりの森、バリアフリートレイル沿いのあじさい広場辺りの枯れたコナラを処理。大きな木の倒木には、来客者の安全を優先しながら作業、参加者の頑張りもあり、薪用・炭用の材料製造も効率よく進みました。

昼休みには作業中に見つけた《むべ》を木に登り4つ収穫、取り敢えず割ってみんなで分け、残りを近くの来客者にも試して頂いた。注：むべ＝郁子 <https://ja.wikipedia.org/wiki/ムベ> あけびの様相だが幾分短く丸みを帯び、熟れても割れない果実、アケビ科ムベ属。食べた感じはアケビより苦味が少なく、皮も美味ではないが食べることはできる。

午後は4名の追加参加にて、よりスピードアップで作業。ふれあいの森内の遊歩道の枯れ木の処理を午前と同様に安全を確保しながら実施。途中、遊歩道横の大きなクヌギにオオスズメバチの一群を発見するも、食事のために集中している様子で作業中・来客者共に注意を促しただけで事故には至らなかった、一安心である。夏が終わり過ごし良い秋かと思いきや一気に寒くなった今日この頃ではあるが、来場者に気持ちよく散歩してもらえる森になればと思う。(椿 雅孝)



## 杉丸太挽き、ベンチ用の板に

製材作業・・・久しぶりにロゴソールを使って製材しました。遊歩道のあちらこちらに置いているベンチの補修用の厚い目の板作りが主な目的です。取り掛かったのは、いつものロゴソール班の男女4名にTさん、SさんとMさんの計7名で始めました。午後からは若手の力持ちTさんも加わって最終的には8名になりました。写真を見ると挽いているのは1人ですが、丸太を台の上に置くのが大変。押す者、ロープで引く者6人掛かりです。

さて、作業始めにチェーンソー(バーの長さ70cm)のエンジンがうまく掛かってくれることを祈ったのですが、結局バーを外し、空気フィルターを外し、丸裸にしてやっと言うことを聞いてくれました。また、丸太を上げ下げするためのカムを修理したりで、直径35cmくらいの杉丸太を1本挽いたところで昼になりました。午後、40cmくらいのを1本挽き、更に丸太を台に載せたところで終了となりました。それでも、厚板6枚、薄板6枚の収穫がありました。あと台の上の1本を挽けば、必要な材は用意できそうです。(赤阪 進)





## 修復後初、良い炭完成

炭出しと次回炭焼き準備…午前中は男性8名、女性1名で3班に分かれ、まず炭窯入口に積まれた耐熱レンガを外し、窯内の出来上がった炭をコンテナに入れて取り出す作業、次に、取り出された炭をカット・袋詰めする作業、最後は10kg袋に計量して完成品として保管まで、それぞれ連携を取りながら行いました。

以前より炭窯天井部分の崩れが見受けられており、前回の炭出し作業時に補修が必要と判断され、4月から約6ヶ月間修復作業をしておりました。今回は修復後初めての炭出しで、修復に携わられた方々の期待が込められた特別な炭出しでしたが、無事10kg入26袋の炭が出来上がりました。ありがたいことです。

私は主に計量作業をしていましたが、袋の中の炭を見る度になぜか「いい炭やなあ」と内心思いながらうれしい気分で作業しました。全量袋詰めが終わり、保管場所に置いて午前中の作業は終了です。午後の作業は男性5名、女性1名(途中1名増)で2班に分かれ、テラーで炭材を回収・炭材置き場までの搬送、別の班は次回窯入れの炭材準備と薪割作業を行い、本日の作業を終了しました。皆さんお疲れさまでした。(坂本 幸三)

## 刈り込み、きれいに

うるし谷整備…涼しいより寒いぐらいの朝で雨もありました。本日は倶楽部員4名で、うち1名はうるし谷入口近くの人で、時折お話しをさせて頂いたNさんという方です。人手も少ないので草刈りのみを行いました。1名は草刈り機で、3名はカマで木の株近くをきれいに刈り込みました。また、1名は池の周辺を刈りました。斜面の裾野に別のNさんが植樹したコナラ、クヌギ、ウバメガシは高い草に隠れているので、気を付けて刈り取りました。休息時にいろいろな話に花が咲きました。今日は涼しかったので疲れは少なかったです。人数のわりに作業がはかどりました。(吉田 恒臣)



## 巣箱の上に巣!?

巣箱回収…11月7日に開催される「巣箱作りと野鳥観察会」に向けて、現在設置されている巣箱のうち約30個を事前回収しました。回収用の道具を上手に使い、次々と回収しては無事巣立ったのか、途中放棄されたのかなどを記していきます。残念なことに明らかに巣立ったと思われる巣は少なく、途中で放棄され、ヤモリやナメクジの格好の寝床となった巣箱や空の巣箱、殻のみの卵が残された巣箱などが多数でした。ただ、見晴らしの良い場所では、落ち葉や苔など

を使って、フカフカの見事な巣を作っていた巣箱もあり、ここから無事に巣立った鳥が、またこの森に戻ってくると良いなと思いました。

写真は、巣箱の上にオオルリが巣を作っていたものです(沢小屋にて)。オオルリはオープンな性格なのか、巣箱の中には作らず、森の石垣などにも巣作りしていたそうです。この巣箱は、しばらく展示して下さるそうなので、この美しい巣を皆さんにも見ていただきたいです。(神浪 佐知子)

20年ぶりにヘルメットを新調しました。イメージを変えて新しいヘルメットはロイヤルブルー。

ヘルメットも年とともに劣化するようなので、伐採作業などに関わる可能性のある方は従来のヘルメットから取り換えるようにしてください。

また、新しく倶楽部員に加入されて、ヘルメットをまだ受け取ってない方も今月の作業日に受け取るようにしてください。きちんとヘルメットをかぶって安全な作業に努めましょう。(岡田 和久)